

ゆあさ 議会だより

令和6年2月発行 No.93

発行：和歌山県湯浅町議会

編集：議会広報編集常任委員会

住所：〒643-0002

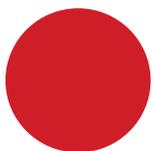
有田郡湯浅町大字青木668-1

TEL 0737-64-1118

FAX 0737-62-4450

URL：<https://www.town.yuasa.wakayama.jp/>

e-mail：gikai@town.yuasa.lg.jp



JAPAN HERITAGE

表紙

ジュニア駅伝競走大会に
向けて猛練習!!

目次

- | | |
|--------------------|------|
| ■ 決算認定特別委員会 | 2～ 3 |
| ■ 12月定例会
全員協議会等 | 4～ 7 |
| 一般質問（4人が登壇） | 8～12 |
| ■ 議会活動 | 13 |
| ■ 賛否表・編集後記 | 14 |

決算認定特別委員会

11月8日に決算認定特別委員会を開催し、9月定例会で継続審査となっていた令和4年度湯浅町各会計の決算認定について審査しました。

※決算認定特別委員会

地方自治法で定められている、その自治体の各会計のお金の使い方の実績である決算について、議会が収入・支出が適法かつ正当に行われたかを確認し「認定」をするかどうかを審査するため設置される特別委員会です。

令和4年度は 全会計合計で4億3,913万円の黒字

主な基金の残高（年度末残高）

（単位：万円）

	令和3年度	令和4年度	増減
財政調整基金	15億7,192	18億1,404	2億4,212
都市計画事業基金	3億904	3億2,423	1,518
ふるさとまちづくり基金	32億4,236	39億1,600	6億7,363
国民健康保険（事業基金）	4億5,490	4億5,312	△178
介護保険（事業基金）	2億618	2億3,209	2,591
すべての基金の合計	59億5,808	69億3,046	9億7,237

※主な基金を掲載しているため、合計に差が生じています。

※基金

特定の目的のため資金を積み立て、その事業の財源とするための貯金のようなものです。

※財政調整基金

災害などの不測の事態に備えるため、財政に余裕のある年度に積み立て、財源が不足する年度に活用する基金です。

※都市計画事業基金

道路整備など、都市計画に基づく事業に必要な財源を積み立てるための基金です。

※ふるさとまちづくり基金

湯浅町に対していただいた、ふるさとまちづくり寄附金（ふるさと納税）を財源として積み立て、寄附された方の意向に沿いながらまちづくりに活用するための基金です。

町債発行残高の内訳

（単位：万円）

	令和3年度	令和4年度	増減
合計現債高	111億2,338	114億9,897	3億7,558
町の負担とならない分	66億2,400	68億9,853	2億7,453
町負担分	44億9,938	46億43	1億104

※町債

公共施設の建設等、多額の費用がかかる事業の財源として国や銀行等から借り入れる資金です。



主な質疑



歳入 石油貯蔵施設立地対策等交付金 546万9千円

問 有田市のENEOS製油所がなくなったらもらえなくなる交付金なのか。

答 石油などの貯蔵量により算定され、交付されるものになっています。そのため貯蔵量がゼロになれば交付金はもらえなくなります。

商工費 起業支援補助金 決算額 200万円（予算額 500万円）

問 起業支援補助金の予算に対し余りが出ている。起業希望者に呼びかける等、PRは徹底されているのか。

答 広報誌への掲載や、商工会と連携し、起業相談に来られた方へ案内するなどしています。今後も引き続き広報していきたいと思います。

問 経常収支比率が92.3%、前年度比4.8ポイントの増となっているが、この主な原因は何か。

答 給与制度改定による人件費増と借入金の返済である公債費が上がっていることが主な原因です。

※経常収支比率とは

自治体に毎年経常的に入ってくる税などの収入のうち、どれだけの割合を人件費や公債費など、必ず支払わなければいけないものに充てているかを示すものです。この数値が低いほど財政に弾力性があるとされます。

問 経済対策やワクチン等、様々な新型コロナウイルス対策事業を行ってきたが、今後のために一定の総括が必要ではないか。

答 大切なことで、必要なことであると思いますので検討したいと思います。

問 2025年、2040年が要介護者の給付費のピークと言われているが、町としての給付費のピークの時期はいつを見込んでいるのか。

答 2025年問題と言われる団塊の世代が75歳になられる年代ですが、実際に介護保険を利用されるのは80歳を超えてからが多いので、町としては10年後ぐらいがピークになるのではないかと考えています。

要望 人口が減る中で、給付費が増える見込みということだが、物価上昇等生活への影響もあるので、できるだけ保険料引上げを回避して欲しい。



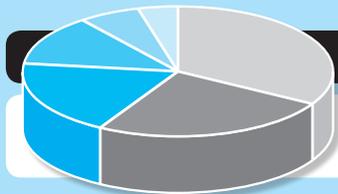


12月定例会

令和5年第4回定例会を12月5日から15日までの日程で開催しました。

本定例会に提案された人事案件、条例改正、各会計補正予算など、提案された諮問3件、議案20件、報告5件を原案の通り可決・同意しました。

財政調整基金積立金	1億7,444万円
物価高騰対応重点支援給付金	1億4,700万円
町道栖原35号線道路改良工事 (岩盤掘削分)	1,600万円
観光コンテンツ造成支援事業委託	600万円



令和5年度一般会計補正予算

4億6,902万円

(単位：万円)

項目	補正額	主な歳出の説明	補正後の額
議会費	38	給与改定に伴う人件費など	7,167
総務費	1億8,730	財政調整基金積立金、旧図書館修繕料など	41億7,743
民生費	2億370	物価高騰対応重点支援給付金、各給付費負担金前年度精算分など	26億753
衛生費	462	新型コロナウイルスワクチン接種事業精算分など	9億1,031
農林水産業費	486	農業集落排水事業出資金など	2億5,333
商工費	703	観光コンテンツ造成支援事業委託など	2億4,379
土木費	2,085	町道栖原35号線道路改良工事(岩盤掘削分)、定住促進奨励金など	13億5,562
消防費	△628	湯浅広川消防組合負担金の減額など	4億8,123
教育費	2,500	生涯学習センター建設基本計画書作成等支援業務委託、保護者連絡システム導入業務委託など	7億9,776
災害復旧費	2,156	農地災害復旧付帯工事など	2億7,306
歳出合計	4億6,902		121億4,026

- ※1 補正後の歳出合計は補正されていない項目も含めています。
 ※2 主な項目を掲載しているため、合計に差が生じています。

令和5年度 各特別会計補正予算

(単位：万円)

項目	補正額	説明	補正後の額
国民健康保険事業	323	前年度補助金精算など	16億9,969
介護保険事業	664	給与改定に伴う人件費など	14億9,964
後期高齢者医療	1,268	前年度療養給付費等負担金精算分繰出金など	3億6,596
農業集落排水事業	262	ポンプ場整備事業費	2,628
水道事業	154	給与改定に伴う人件費など	2億8,552

全員協議会

一般会計予算

保護者連絡システム導入業務委託 98万1千円

問 保護者連絡システムについて、現行のメールでは100%連絡できているか。

答 セキュリティが厳しくなり、一部メールが届かないということがあったため、今回新たにシステムを導入するものです。

要望 不審者情報等を保護者だけでなく、関係機関にも連絡が入るようにして欲しい。



斎場建替え事業 9億796万3千円（3か年）

問 斎場の建替え工事中の火葬は有田聖苑でしてもらうのか。

答 旧施設を残しながら工事をしますので、そのまま使用できます。

人事案件

副町長選任同意

引き続き、楠義隆くすよしとか氏を選任することに同意しました。
任期は令和6年1月1日から4年です。



楠義隆氏

教育委員会委員任命同意

引き続き、井上栄次いのうえいじ氏を任命することに同意しました。
任期は令和6年2月1日から4年です。



井上栄次氏



選挙管理委員及び補充員の選挙

任期満了により、選挙管理委員に山崎明氏、竹田悦子氏、西邑木久美氏、愛須一弘氏が、補充員に、大浦豊幸氏、富上将基氏、尾崎博氏、中山尚子氏が議会の選挙において当選されました。

任期は令和5年12月24日から4年です。

人権擁護委員候補者推薦につき意見を求める件

法務大臣より委嘱される人権擁護委員として、引き続き、平林園子氏、宮井義和氏を、また、新たに武内ひとみ氏の3名を適任と答申しました。

任期は令和6年7月1日から3年です。



平林園子氏



宮井義和氏



武内ひとみ氏

主な条例等

職員の給与に関する条例の一部改正

国の人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じて町職員の給与を改定する一部改正です。

国民健康保険税条例の一部改正

産前産後期間における国民健康保険税の減額措置を定める一部改正です。

要望 町独自の施策として減免の期間を延長して欲しい。

要望書

12月定例会において、町議会に対し提出のありました以下の要望書につきまして、写しを全議員に配布しました。

○和歌山県腎友会からの要望書

その他の議案

○町道の廃止を求める件 ○町道の認定を求める件

県道ネットワークの再編に伴い、町道の一部を県道とするため廃止し、県道の一部を町道とするため認定するものです。

要望 町の中を通っている参詣道である熊野古道の保全整備については、町単独では負担が大きくなるので、県道から町道に移管されたあとも、県に協力を要請し、近隣市町とともに取り組んで欲しい。



立石道標

現場視察を行いました

12月定例会会期中に、町道栖原35号線道路改良工事現場と、その工事の残土仮置場及び改修中のなぎの里屋根付きゲートボール場を視察しました。



町道栖原35号線道路



町道栖原35号線道路



なぎの里ゲートボール場



工事残土仮置場

※法令・安全基準等に十分留意して現場視察を行っています。



これからの湯浅のために

令和5年第4回定例会一般質問

今定例会で一般質問を行った議員及び質問項目は次のとおりです。
次ページから各議員の質問について、それぞれ作成した内容を質問順に掲載しています。

赤井 洋子 議員 9 ページ

- 図書館蔵書の充実について
- 役場窓口業務での難聴者、高齢者のサポートについて

石本 一也 議員 10 ページ

- 安心・安全なまちづくりについて
 - ① 総合センターの建替について
 - ② 隣保館の充実について
 - ③ 湯浅町の組織構造について

久澄 顕人 議員 11 ページ

- 第9期介護保険事業計画について
- 来年度当初予算について

三ツ橋 忠男 議員 12 ページ

- 健康推進について



赤井 洋子 議員

えき蔵図書館を魅力ある空間に 学校図書を学習支援の拠点に

質問①

ここ3年間の湯浅町立図書館の図書購入費は、年間300万円である。書店でも気付くが、今、本1冊の価格は確実に高くなっている。調べてみると、ここ10年で毎年価格は上がり、10年前と比較すると平均159円値上りしている。ということとは、この予算で購入できる冊数は少なくなっていることがわかる。新刊の図書館を見ると、近隣の図書館に比べて少なく感じるが、新刊図書の購入を増やすため図書購入費の増額は可能か。また、古くなり色あせ

た本を新しい本に替えながら、湯浅えき蔵図書館にたくさんの方が、訪れなくなるよう、更なる工夫をお願いしたい。また、小学校、中学校の図書館の整理と充実はどうなっているか。

答弁(教育長)

えき蔵図書館は令和2年オープン時に約1万冊の蔵書を追加以降、年1、600冊購入をしています。学校図書については小学校5校に司書2名、中学校に1名配置、子どもにとって本との出会いは大切であり、学校図書でも廃棄と購入を行っている中、蔵書を充実させ

たいという声があり、来年度予算で対応し、学校図書と図書館が協力して充実したものになるよう考えていきます。



えき蔵図書館

要望

文化的な取り組みはどうしても後回しにされがちだが、町民のため、子ども達のために目に見える充実をお願いしたい。

質問②

日本の難聴者の数は1,300万人、高齢化に伴い今後ますます増えると思込まれる。

今、各地の自治体で耳の聞こえにくい高齢者や難聴者とのコミュニケーションのため、窓口に軟骨伝導イヤホンが導入されている。窓口での対応で個人情報を守り、また対応時間の短縮にも繋がる。役場窓口への導入に

ついて考えを聞きたい。

答弁(総務課長)

現在、耳の不自由な方とのコミュニケーションは筆談で対応しています。職員のマスク着用などで、聞き取りにくいこともあるかと思います。安心して利用できるよう、議員提案の軟骨伝導イヤホンを含めた対応機器設置を検討したいと考えます。

要望

感染症予防のため、マスク着用やパネル設置の時代。スムーズな対応のための導入をお願いしたい。





石本 一也 議員

総合センターの建替え・隣保館の充実 湯浅町の組織構造について

質問①

総合センターの建替えについては、以前、関係部局で検討を進めると回答頂いています。現時点ではどういった計画があるのでしょうか。また、建設にあたっては地元への説明はもとより、協議体での十分な協議が必要であるとたびたび申し上げております。協議体の設置の状況はどうなっていますか。

答弁(町長)

新たな施設は、長年総合センターで取り組んできた隣保館の機能を備えつつ、地区内外の人が集い、交流する町全体の生涯学習の拠点施設とする

ことで、町民の更なる人権意識を高め、差別のない社会を推進していききたいと考えています。

協議体の設置につきましては、様々なメンバーで組織することで、地域だけの問題ではなく町全体の問題ということで話し合える組織が望ましいと考えています。

質問②

各隣保館の状況、とりわけ緊急度が高い野下出水文化会館の今後の計画を教えてください。

答弁(町長)

隣保館につきましては地元とも十分協議し、より効率的な事業運営方法を模索し、ソフト、ハード

の両面から在り方について考えていきたいと思っています。

野下出水文化会館につきましては、老朽化や浸水区域に位置するなどの現状を踏まえ、今後の方向性を示していきたいと考えています。

要望

野下出水文化会館は、水害時における河川氾濫等、非常に危機感を持っていますので、早急に進めて頂きたい。

質問③

自治体業務が多様化し、町の各部署でも様々な課題があり、苦勞されている状況で、指揮命令は円滑になされて

いますか。職員は働きやすい環境ですか。人材の育成は順調に進められていますか。それらを管理監督するのは、管理職の方でしょうか、私が見る限り本当に大変だと思えます。今後管理職のモチベーションが保たれるのか、また、なり手を確保していけるのかも心配しています。限られた人員の中で最大の役割が果たされ、業務をスムーズに進めるためには、私が従前から提言している関係部署全体をコントロールできるポジションが必要ではないかと思えます。

答弁(町長)

同時に、行政は、時代に応じた新しい事業を進めていくことが求められます。それらをマネジメントできる人材の確保・育成についても急務になってくると思えますが、順調に進められていますか。

現在、副町長、総務課、政策企画課と出先機関で、状況報告や課題等を出し合う等、週一回会議を開いて、共通認識を図りながら行っているところですが、こういった方法を通して、課題解決に向け取り組むことが指摘に対する解決にもつながると考えています。

これからも職員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、公務員として使命を果たし、関係機関とも連絡を取りながら効率的に推進できる環境整備をさらに推進していきたいと考えています。





久澄 顕人 議員

介護保険料の負担軽減を 物価高騰対策・移動支援の予算化を

思ってもらえるような施策を進めます。

今後の町財政の見通しを問う。

質問⑧

平成26年度では財政調整基金が一千万円を割り込み危機的状況でしたが、その後はふるさと納税により状況は好転しています。ここ数年、地方債残高が増加傾向にありますので、将来に過度な負担を残さないよう、行財政運営を行っていきます。

○地域公共交通計画策定、地域公共交通会議設置、必要な予算化など、移動手段の確保について早急な取り組みを。

○クーポン券事業、事業者支援、給付金などの物価高騰対策の予算化を。

○義務教育に係る負担の大きい部分（修学旅行費、学用品など）の段階的無償化を。

○子育て支援は、数年前と比べ経済的支援は大幅に拡充しています。今後も湯浅町に住み続けたいと

シ―事業者や近隣町と現状打開できるよう進めていきます。

物価高騰対策の来年度の取り組みは。

これまでに国の臨時交付金を活用し、クーポン券事業、燃油高騰対策補助金を実施し、一定の効果があつたと考えます。国の施策を注視し、湯浅町にあつた対策を考えます。

移動支援について、町内のタクシーが少なく、交通手段の確保に支障が出ている。以前からの進捗状況は。

県や事業者と相談し、特区の活用や実証実験も検討しています。タク

避・段階の細分化、低所得者への軽減制度導入を。

来年度当初予算編成方針を問う。

来年度当初予算編成方針を問う。

質問①

第9期介護保険事業計画策定の進捗、介護保険制度の課題は。

答弁(福祉副課長)

進捗状況は、現在アンケート調査の分析を行っており、今後は事業推計を基に保険料の算定を行います。介護保険制度の課題は、今後予想される厳しい財政状況と福祉人材の不足です。

質問②

介護予防事業の取り組み状況は。

答弁(福祉副課長)

高齢者筋力向上トレーニング事業の参加者86名、お元気体操100名、腰痛膝痛予防健康体操30名、認知症予防フレイル

質問③

介護保険料は現在9段階制だが、さらなる細分化を行うべきでは。また9期の介護保険料の引き上げを回避していただきたいがどうか。

答弁(福祉副課長)

介護保険制度を持続可能なものにするため、一定の負担をお願いしなければならぬと考えます。細分化については、計画策定委員会にて検討します。

要望

介護保険料引き上げ回避

質問④

来年度当初予算編成方針を問う。

答弁(町長)

栖原ポンプ場の改築事業、斎場建替え事業などの大型事業を進め、少子化対策・子ども施策を未来への投資と考え充実させていきます。

質問⑤

移動支援について、町内のタクシーが少なく、交通手段の確保に支障が出ている。以前からの進捗状況は。

答弁(総務課長)

県や事業者と相談し、特区の活用や実証実験も検討しています。タク

質問⑥

物価高騰対策の来年度の取り組みは。

答弁(町長)

これまでに国の臨時交付金を活用し、クーポン券事業、燃油高騰対策補助金を実施し、一定の効果があつたと考えます。国の施策を注視し、湯浅町にあつた対策を考えます。

質問⑦

子育て支援について、来年度の方策は。

答弁(町長)

子育て支援は、数年前と比べ経済的支援は大幅に拡充しています。今後も湯浅町に住み続けたいと

質問⑧

今後の町財政の見通しを問う。

答弁(総務課長)

平成26年度では財政調整基金が一千万円を割り込み危機的状況でしたが、その後はふるさと納税により状況は好転しています。ここ数年、地方債残高が増加傾向にありますので、将来に過度な負担を残さないよう、行財政運営を行っていきます。

要望

○地域公共交通計画策定、地域公共交通会議設置、必要な予算化など、移動手段の確保について早急な取り組みを。

○クーポン券事業、事業者支援、給付金などの物価高騰対策の予算化を。

○義務教育に係る負担の大きい部分（修学旅行費、学用品など）の段階的無償化を。





三ツ橋 忠男 議員

健康推進について



を研究します。

要望

带状疱疹はワクチン接種による予防が可能です。しかし、接種費用が高額ですので、ぜひ費用の助成に向けて前向きな検討を要望します。体操教室への参加促進も進めて欲しい。

また、健康推進や病気の予防のためには、運動だけではなく、食事も大切です。地元には身体によい食品がたくさんあります。地産地消で健康推進や病気予防のため取り組んで頂きたい。

質問①

町内各所で行われている健康教室の現況は。病気の早期発見について、各種健康診断の受診率は。またコロナ禍において新型コロナウイルス接種の一回以上の接種率は。

答弁(健康推進課長)

健康教室の参加者は、コロナ禍前と比べ半減しているものもあります。受診率は令和4年度32.6%で県平均よりやや低いです。がん検診は全国、県より高いです。新型コロナウイルスワクチン予防接種が一回以上の住民は約81%です。

質問②

新型コロナウイルスについては、多くの町民が接種を受けていて安心しております。現在実施されておりオミクロン株の対応ワクチンについても引き続き、今年度最後まで頑張っていたきたい。

最近よく耳にします帯状疱疹ワクチンは、子ども頃にかかる水ぼうそうと同じウイルスを原因として、神経痛を伴う病気ですが、50歳以上になると発症率が増加し、80歳になると三人に一人と言われています。この帯状疱疹ワクチン接種については、費用が高額とな

るため、県内でも、補助制度を創設する自治体が出てきています。湯浅町では検討しているのか。がん検診等の受診率は県平均を上回っているとのことですが、一部体操教室については、参加者数が、なかなかコロナ禍前まで戻ることができていないのは心配です。教室や検診は一回行って終わりではなく、継続して参加することが大切で、参加する方が楽しい、また来たいと思えるような動機づけや、マンネリにならない工夫が必要だ。また身体が弱くなり、病気の心配をし始める前か

ら、取り組み始めることが肝心です。今後どのように進めていくのか。

答弁(健康推進課長)

带状疱疹ワクチンは県内市町におきましても接種費用を補助する自治体が出てきております。発症による神経痛だけではなく、合併症や後遺症に伴う医療費、労働への影響が社会的にも懸念されています。今後の方針については前向きに検討を進めてまいります。

教室等への参加促進には野菜の充足度をはかる「ベジチェック」や筋肉量や身体の年齢などを計測したりする機器等、方法



健康づくり事業「貯筋ウォーキング」



有田地方全議員研修会に参加しました

10月25日(水)に有田市で開催された、有田地方全議員研修会に参加しました。和歌山医療スポーツ専門学校校長 尾藤いつむ何時夢氏による講演を聴講しました。その後、広川町・有田川町・有田市の各議員と情報交換し、交流を深めました。



視察研修を行いました

11月10日(金)・11日(土)の2日間、視察研修として東京都国立市及び神奈川県横浜市を訪れました。国立市では「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」について市のすべての施策が条例の理念に沿っているかの検討から始まっていること等について学びました。横浜市ではパシフィコ横浜にて開催の「第9回ふるさとチョイス大感謝祭2023」を訪れ、湯浅町のブースにおけるPR状況や、他の参加自治体のPR方法等について視察しました。



国立市視察研修



ふるさとチョイス大感謝祭



ふるさとチョイス大感謝祭

議長全国大会に出席しました

11月29日(水)にNHKホール(東京都渋谷区)で開催された、全国町村議会議長会主催の「第67回町村議会議長全国大会」に横矢議長が出席しました。大会では令和6年度国の予算編成及び施策に対する要望等が決議されました。



12月定例会賛否表

審議結果	議案名等	赤井 洋子	久澄 顕人	松本 光成	石本 一也	山本 年哲	板垣 善夫	三ツ橋 忠男	由良 祥治	横矢 政明	松本 典久
認定	令和4年度一般会計決算認定	○	●	○	○	○	○	○	○		○
認定	令和4年度国民健康保険事業特別会計決算認定	○	●	○	○	○	○	○	○		○
認定	令和4年度駐車場事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定	令和4年度農業集落排水事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定	令和4年度介護保険事業特別会計決算認定	○	●	○	○	○	○	○	○		○
認定	令和4年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	●	○	○	○	○	○	○		○
認定	令和4年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○
適任	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求める件（3名）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
同意	副町長選任の同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
同意	教育委員会委員任命の同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	和歌山県市町村総合事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	有田郡老人福祉施設事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の財産処分に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	町道の廃止を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	町道の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	町道の変更を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	工事委託協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○

(注) 横矢政明議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、●は反対、－は退席

編集後記

新年を迎え、新しい年の第一歩を踏み出そうとした矢先、一月一日に能登半島地震が発生し、甚大なる被害が報告されました。亡くなられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

本年は、十干の「甲」と十二支の「辰」を組み合わせた甲辰きのえのうであります。辰のキーワードである「変革」や「激動」が示すように時代が大きく動く年になるかも知れません。又、辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

本年も行政と議会とが一体となって町民の皆様が安心安全に暮らせる、まちづくりに全力で取り組んでまいります。(由良 祥治)

議会広報編集常任委員会

委員長 久澄 顕人
副委員長 赤井 洋子
委員 山本 年哲
委員 三ツ橋 忠男
委員 由良 祥治

